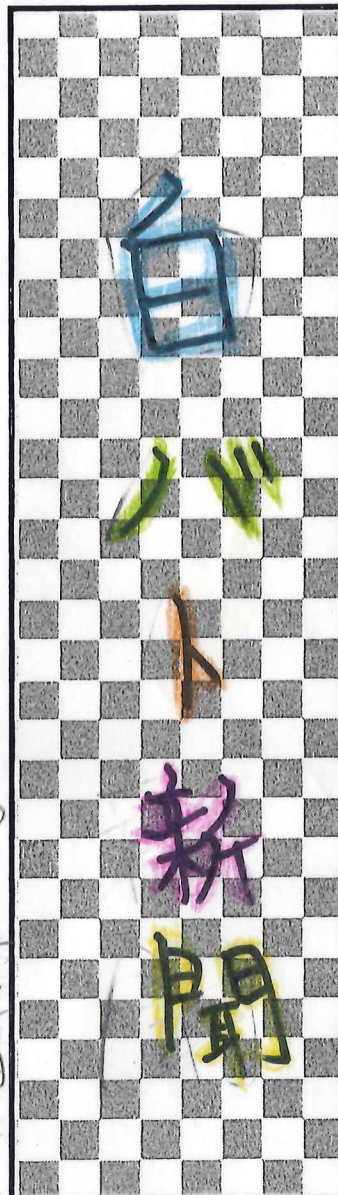
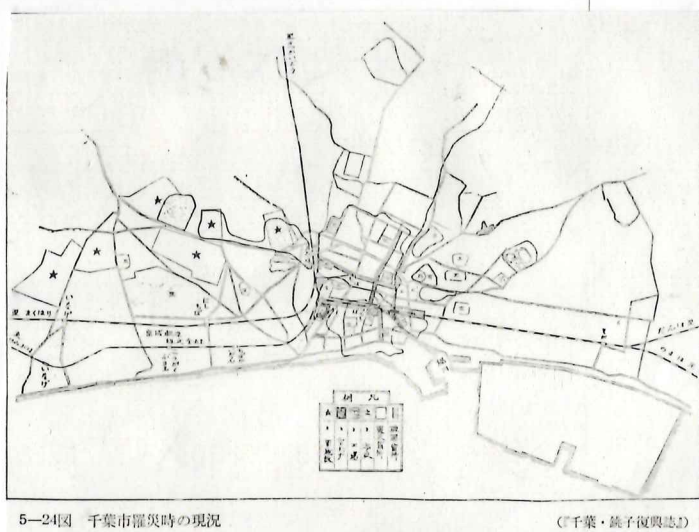




運命。齒車を動かす戦争



2025年
7月27日
第1号
発行



5-24図 千葉市罹災時の現況



▲火焼着弾のレプリカ

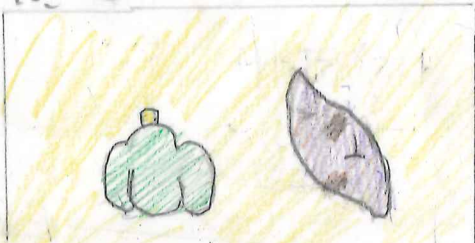
高松さんが話してくれた千葉空しう
 1945年6月10日7時45分のおず、一分間の間に、
 ばくだんが落ちてきた。アメリカ軍は、千葉の工場を
 ねらったと思われるが、二丁目の民家に落ちてきた。
 当時、小学2年生だった高松さん（現別荘は防空がきんを
 かぶり、袋を携えランドセルを、防空がきんを、
 ためにくつをはき、うしろに防空がきんを、
 とっさに学校で習った、防空がきんを、
 しばらくして、母親の声で聞こえたので、ガラスの
 部分が割れていたと、びくから出てきて、その後、防空
 がきんを見えて、みたら頭のてっぺんのほうがやぶれて
 飛び出ていた。

1945年7月7日、空襲という警告報がなりおたり、1時39分
 から3時4分にわたってアメリカ軍が焼夷弾を落とされた。
 高松さん一家は父親のてい、案で、海軍の海軍沿いに
 逃げた。焼夷弾による、火事、火の粉が
 いる、おんてくるから、防空がきんを海水で
 むらしながら逃げた。

7月13日(金)生涯学習センターで4基栄座しよつ
のことについて語ってくれた高山さん。on。の。
高山さんが語ってくれたことは。。。

當時のぐらし

戦争の最初の
ほうは物不足も
あったが、この
高山さんが
小学生のときに
お父さんが買って
くれたランドセルは
ボール紙で作られていた。
雨にぬれたり、重い物をいれ
ると、すぐにこわれてし
まっていた。



昭和 20. 6. 10
ばく だん
火暴 弾
死者 傷者 391名
罹戸 災数 415戸

昭和 20. 7. 7
しょう い だん
焼夷弾
死者 傷 1204 名
罹 災 8489 戸
戸 救

つこの二つの空しゅう
で友達や近所の
人がたくさんの方が
ぎせいになった。



今食べ物も今のように
米やパンなどではなく、
イモやカボチャなどで、
色々な物が配給制に
なっていた。

また、敵にねらわれるので、
服もカーキ色や黒っぽいものを
着ていた。

家の中でも、夜に電球を
つけていても外から標的に
されないように「灯火管制」
といって、電球に黒い布を
かぶせたそうだった。



- ・1945年3月9日～10日にかけ、東京大空襲があった。
- ・1945年6月1日、大阪大空襲があった。
- ・1945年3月2日名古屋大空襲があった。
- ・1945年6月19日福岡大空襲があった。

ほかの地域の空
しゅう

～広島・尾崎への原はく投下～

1945年8月6日広島、おなにく
8月9日に長崎に原爆がく
落され夫が被害と多くの犠牲者
がいた。
原爆がく落とれた直後に、
放射能をふくんだ「黒い雨」が
ふいた。黒い雨に当たると、腸や
白血病に陥りしした。



亦冬入らた物語た

終戦をおかえて、
戦地から父親がもとり、
新しくやりなおすところほ
う良かったと思つた。

感想～映画は高山士人の話を聞いて～

私は昔、¹³人物語と高山さんの話を聞いて戦争に家族がバラバラになったり、いっしんで命をばうおそろい物だと思った。

また、「おれが食いたい!」などのおかしなまかせ
許さないうくらいのものだと思った。

高山さんの話の最後に、
 宝物を大切に、けん約おこともうんで
 ほいりと言わていたが、私も命や物を
 大切にしたいと思った。

黑山雨